

2025
冬号



発行 城里町社会福祉協議会 ☎ 029-288-7013 FAX 029-288-7021 ホームページ <https://www.shirosato-syakyu.com>
編集 広報ボランティアグループ



主な内容	新年のごあいさつ..... 2P	ボランティア連絡協議会研修..... 5P
	城里町社会福祉大会..... 3P	心身障害(児)者父母の会クリスマス会..... 6P

広報紙「かざぐるま」は、赤い羽根共同募金助成金で、年4回発行しています。



新年あけましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては、新春を晴々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年は、介護認定のある方に対する福祉タクシーの愛称が「ほろるん」に決定しました。親しみやすい愛称ができたことで、親近感が増して利用者も増加しております。また、介護認定がなくても、75才以上で運転免許がない高齢者が利用できる福祉タクシー「のつてく」も10月に運行をスタートしました。さっそく利用した町民の皆様からご好評をいただいております。

城里町は、鉄道がなく、バスの運行も多くないため、自家用車を運転できない

い高齢者の病院までの移動手段の確保が「安心して暮らせる町づくり」のために課題となっていました。「ほろるん」と「のつてく」により、この問題に一つの解決策を示すことができました。今後さらさら改善を続け、皆様から愛される福祉タクシーであり続けたいと考えています。こうした福祉タクシーの充実には、ボランティア運転手が必要です。ボランティア運転手のお仕事にご興味のある方、ぜひ社会福祉協議会までご連絡をお願い致します。

結びに、新しい年が皆様にとって幸多いことをお祈りしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。



今年の血液型占い

A型のあなたは、計画的な行動が成功のカギとなります。持ち前の真面目さと責任感で一步一步進めば、結果がついて信頼されます。**O型**のあなたは、リーダーシップを発揮する場面が多く、仕事や人間関係で高く評価され、成功を収めやすい一年になりそうです。**B型**のあなたは、クリエイティブな才能が目覚め、仕事や趣味で成功するチャンスに出会いましょう。興味のあるものを追求すると良い結果が得られます。**AB型**のあなたは、変化の波に上手く乗り、予想外の出来事にも対応してください。特に人間関係は適切な距離感を保ってください。



巳年生まれの性格

へビは執念深いというイメージがありますが、巳年生まれの性格も執念深いと言われます。しかし、この執念深さは、努力を惜しまないで粘り強い、努力家の性格です。巳年生まれの人は向上心旺盛で努力家という長所の裏に、プライドが高いという短所があります。その為人に本音を見せられない性格もあり孤立しがちです。自分の長所と短所を認め、長所は伸ばして、短所は気をつけるようにすれば、人とのコミュニケーションを上手くとることが出来ます。出来るでしょう。



巳の故事ことわざ

【鬼が出るか蛇が出るか】どんな化け物が出てくるか見当がつかない。どんな困難が飛び出すか、結果が分からないがとにかくやってみなければ分からないこと。**【蛇に睨まれた蛙】**逃げることも手向かうことも出来ず、体がすくんでしまうこと。**【蛇の生殺し】**相手を一気に殺さずに、半死半生の状態にして苦しめること。物事の決着をつけずにあいまいにして苦しめること。**【蛇の道は蛇】**どんなものも専門家に頼むのが一番効率が良く、最良の結果が得られる。**【長蛇の列】**蛇のように長い行列。**【蛇足】**蛇の絵に足まで描いて勝負に負けたことから、余計な付け足しや無くてもよい無駄なもののこと。



第20回
城里町表彰式典

城里町社会福祉大会

昨年11月19日(火)コミュニティセンター城里において、城里町表彰式典並びに城里町社会福祉大会が開催されました。

上遠野町長の式辞にはじまり、これまで多年にわたり社会福祉の発展に功労のあった方々に表彰状の授与が行われ、来賓祝辞、閉式の辞にて式典は終了しました。

今回受賞されました方々の氏名、団体は次のとおりです。おめでとうございます。

なお、順不同にて敬称は略させていただきます。

城里町長表彰受賞者

自治功勞表彰	石川 丈幸				
自治表彰	綿引 ひとみ	飯村 義弘	所 幸男	飛田 修一	小田部 勝
一般表彰 (表彰状)	故黒沢 忍	故菊地 長生	和田 雅治	故久保田 殿司	本間 昭人
	阿久津 理子	加藤木 義壽	岩下 治美	森 重正	吉田 政治
	加倉井 一史				
一般表彰 (感謝状)	故平賀 好孝	本間 昭人	仲田 文子	檜山 寛司	平賀 正文
	櫻井 武男	城里町建設業協会 会長 関根 一利			
		城里町建設業協会 会長 関根 一利			
		明治安田生命保険相互会社水戸支社			

城里町社会福祉協議会長表彰受賞者

ボランティア表彰 (表彰状)	大崎 健一	鈴木 眞知子	富永 喜子	吉田 英昭	石崎 由美子
	関谷 淳子	徳宿 紀子	廣木 創司	大森 令子	小堀 康夫
	佐川 力	飯田 清美	塚田 尚美	浅野 敏子	伊澤 弘
	高羽 わぐり	加藤 千代子	小林 桂子	菊地 洋子	阿久津 宣子
	阿久津 公子	石川 あさ	藤沼 恵子	田谷 節子	川又 誠子
	飯村 光咲	飯村 優衣			
ボランティア表彰 (感謝状)	小山 よし江	松井 忠明	小林 玉枝	加藤 美枝子	大井 とし子
	大越 貞夫				
団体役員表彰 (感謝状)	加藤木 勝利	富永 和朋			
社協役員表彰 (感謝状)	阿久津 則男				
善意銀行感謝状	皆川 泉	山形 浩昭	関谷 誠	岡本 栄	山崎 秀雄
	廣木 正則	宮本 新	加藤木 直之	高瀬 弘	清水 良一
	菊池 博美	コカ・コーラボトラーズ(株)水戸南セールスセンター			
	与三郎庵	城里町文化協会	石塚三二会	水戸ヤクルト販売株式会社	
	J A水戸しろさと農産物直売部	成田山眞盛講桂支部			

茨城県共同募金会長感謝状受賞者 (伝達)

茨城県立水戸桜ノ牧高等学校常北校

令和6年度 城里町花いっぱい運動コンクール入賞団体

おもてなし花壇の部	最優秀賞	錫高野生産クラブ
	優秀賞	上坏長寿会 上坏フラワーボランティアの会
団体・職場の部	最優秀賞	徳蔵体操グループ (秋桜会)
	優秀賞	岩船子ども会 入坪自治会
学校の部	最優秀賞	常北小学校
	優秀賞	石塚小学校 桂小学校

わが町の生きもの

子供さんに美味しい苺を届けることを目指して

石塚地区 山口麻衣子さん

石塚地区に住む山口麻衣子さんを訪ねました。山口さんは城里町で苺を専門に栽培する40代前半の女性農業者です。



笑顔の素敵な山口さん

山口さんは大学卒業後、千葉県松戸市で会社勤めをしていました。子供さんの養育と共に、ふるさとの石塚に戻り畑仕事を始めたところ、思ったより楽しくやり甲斐があり、これが自分の仕事だと直感しました。また、苺農家さんからの勧めもあり、美味しい苺を作りたいという思いで苺を作

ることを決めました。

苺栽培を開始するための準備として、大学の時に知り合いとなった栃木県都賀にある苺農家に、約1年間研修に行き、栽培方法のご指導を頂きました。

現在は苺を栽培する50メートルのハウスが3棟あり、オーガニック店や直販を行っています。品種は、「とちおとめ」です。「とち

おとめ」は、大きめの果実で、整った円錐形をしていて、濃い赤い色がきれいな品種です。甘さと酸味が同時に楽しめます。

訪問した11月末、ハウスの中の苺の苗は花を咲かせていて、ミツバチの力を借りて受粉させていました。この受粉作業は、ミツバチをハウスの中に放して受粉

を行います。その理由は充分に受粉しないと、三角形をした苺の形にならないとのこと。そしてその苺の出荷は12月となり、クリスマスケーキを一層美味しく飾ってくれると思います。

山口さんが目指す「食べ方が美味しいと喜んでくれる苺」を作るために、土づくりにご協力、肥料を厳選し、手間暇かけて栽培に取り組んでいます。

美味しい苺を作るには、丈夫な苗を育てることも必要です。「苺栽培は、まさに手間の掛かる子育てと同じです」と話されています。

子供さんは中学3年生から4歳まで5人居ます。全員男の子です。幸いにして自宅の隣に山口さんの両親が住んでおり、助けを頂いています。「子供達が大きくなり、手間が掛からなくなったら栽培面積をもっと広げたい」と笑顔で話されておりました。

つくしの四季

昨年、城里町で開催された「ホロルのたまご」に参加しました。



つくしならではの小物を販売しました！

出店では、ボランティアの方々が作った小物や、つくしの仲間たちが育てた野菜の販売活動をおこないました。賑わうお祭りの雰囲気を感じながら、朝採れ野菜を皆で袋に詰め、お店に立ちました。毎年参加していますが、販売活動は少し緊張気味の仲間たち。しかし、お客様の手に渡る時には、「ありがとうございます」と頑張って挨拶してくれました。お客様の手に渡る瞬間は、いつも嬉しい気持ちでいっぱいになります。

演舞では、ボランティアグループの「輪を広げる会」の方々と一緒に、「南中ソーラン」と「シャケサンバ」の踊りを披露しました。客席から、子供達がリズムに合わせて踊り、手拍子をしてくれるのが見え、つくしの仲間たちは更に盛り上がっていました。終わつた後は皆、達成感に溢れた表情になっていました。お昼には、美味しい焼きそばやお蕎麦、大判焼きを食べ、お祭りを思う存分に楽しむことが出来ました。これからも、このような機会を一つひとつ大切に、つくしの仲間たちと楽しい思い出を作っていきたいと思えます。



清々しくハイポーズ



熱心に話しを聞くボランティアの皆さん

昨年12月4日（水）、日立市社会福祉協議会に訪問し、城里町ボランティア連絡協議会研修会が行われ、寺門茂雄会長他31名が参加しました。

研修会は、日立市社協ボランティアコーディネーターの鯨岡さんが進行し、防災担当の宮本係長から、台風13号豪雨災害による日

令和5年9月8日台風13号

災害に備えるために

ボランティア連絡協議会研修

立市災害ボランティアセンターの活動状況についての説明がありました。

活動期間は9月11日（月）～10月9日（月）までの25日間（雨天時を除く）、全国からボランティアが集まりました。ボランティア活動人員は個人831人、59団体1479人でした。

市民からの作業依頼件数は182件。全ての依頼について、職員が現地調査を実施し、ボランティア活動が出来るものと出来ないものを判断し活動を開始しました。

活動当日の流れは、①受付②マッチング（依頼作業とボランティアの調整）③資材受け取り④活動場所へ移動⑤作業及び内容の報告と決め、安全を第一に行動しました。



特に、宮本係長からは「作業したからそれで終わりではない、その後のフォローが大切です。また、作業をする場合役割分担が重要になり、力仕事に難しい高齢者や女性の方は、食器の清掃や片付け等も出来ません」との話がありました。

研修会に参加して、いつ起こるか分からない災害に対し、想定外だったと言いつつ、訳しないように日頃から、準備・訓練を実施して、災害に備えたいものです。

帰りに吉田正音楽記念館を見学し、懐かしい吉田正メロディーを聞いて心の洗濯が出来ました。とても有意義な研修でした。

ひきこもり当事者の居場所 「このゆびとまれ」

手作り餃子教室好評により第2回目を開催



慎重に餃子の具を詰めます

昨年末の12月20日（金）、常北保健福祉センター2階にある調理室において、参加者の要望により「このゆびとまれ」の一つの活動として、第2回目の手作り餃子教室を開催しました。

今回は3人の方にご参加を頂き、社協・ボランティアからは6人が参加して、餃子の具作りから焼き上げまで体験しました。ご飯は七会地区の美味しいお米を提供して頂き、餃子と一緒に味わいました。参加者全員で楽しく作って焼き上げ、皆さんと一緒に食べる餃子とご飯はとても美味しかったです。

* 「このゆびとまれ」のボランティアを募集しています。

電話 029-288-7031 (社協)



餃子の美味さは焼き方で決まる



焼き上げた餃子



皆さんで味わいました

開催日：毎月
第3週の金曜日
時間：13:30～15:30
場所：常北保健福祉センター
2階研修室
参加費：無料

心身障害(児)者父母の会 クリスマス会

昨年12月15日(日)、心身障害(児)者父母の会のクリスマス会が、城里町常北保健福祉センター健診室で開催されました。

高橋会長のあいさつの後、ビンゴゲームを行い、マス目が揃った人からプレゼントを受け取りました。開催までの準備は、会長はじめ役員の皆さんにご尽力いただき、笑顔いっぱいのクリスマスでした。



プレゼントどれにしようかな



みんなでポーズ



プレゼントと一緒にパチリ

なかんせプラツと広場 ~令和7年4月から始動~

那珂西二区集落センターを拠点に、令和7年4月から「なかんせプラツと広場」がオープンします。祐川美穂さんを代表とし、町内外から集った有志及び学生ボランティアが、昨年8月から複数回にわたり企画、打合せを行い、オープンに向けての準備を進めてきました。

「なかんせ」は、那珂西を訛って呼んだもの、「プラツと」は誰でも自由に出入り出来るようにと、親しみやすく開放的になるように名づけられています。

「なかんせプラツと広場」は、赤ちゃんからお年寄りまで、誰でも集える場所となり、地域の活性化へつなげることを目的とした多世代交流拠点を目指しています。

4月から月1回の開催とし、今後企画している内容としては、昔遊びやハロウィン・クリスマス会、子ども食堂、図書館など様々なものがあります。

那珂西地区に限らず参加可能ですので、ご興味がある方はこちらから→



オープン前ですが、昨年11月、お正月に那珂西神社に初詣に行く方の足元を照らそうと、竹灯籠づくりを行いました。

しめ飾りとしめ縄

お正月にはかかせないしめ飾り。みなさんのお宅にも飾られたことと思いませんか。しめ飾りの飾り物には意味があります。

橙 .. 代々子孫が繁栄しますように

裏白 .. 表裏のない清廉潔白を表す

エビ .. 長寿、不老不死 昆布 .. よろこぶに通じる縁起物

しめ飾りはいわゆる年神様をお迎えする準備ができているという目印です。

では、しめ縄との違いは何でしょうか。しめ縄は神様のいる聖域とその外を区別するために張られます。つまり、聖域とその外との境界線・結界という意味になります。

よってしめ飾りはお正月だけ飾られ、しめ縄は神棚や鳥居に一年中かけておくものになるのです。



手話を学ぶ 48

「あ」から始まる単語

新年おめでとうございませす。今年も穏やかな日常が過ごせますようにと願いながら、多くの方が、手話に対して関心を持っていただけますように頑張ってくださいと思います。



「相性」(ぴったり・合う・似合う)等
上向きにした左手の人差し指の先に右手の人差し指を軽くあてる



「あいさつ」
両手の人差し指を立てて向かい合わせ、同時に折り曲げる



両手を2~3回閉じながら前方に出す



両手のひらを手前に向ける



斜めから見たとき

「アイディア」
右手の親指を頭にあてて、手首を外側にひねる



「相手」
右手のひらを自分に向け軽く曲げ体の前におく



横から見たとき

「愛する」(愛・大事・大切)等
下向きにした左手の甲を右手の手のひらでなでるように回す



「アイスクリーム」
右手でこぶしを作って口の近くにおき、手前に引くように動かす。なめる様子

「あいまい」(複雑・淡い)等
両手の手のひらを向かい合わせ互いに小さく回す



「会う」
両手の人差し指を立てて左右から寄せる



「アイロン」(アイロンをかける・クリーニング)等
右手でこぶしを作り、こするように2~3回斜めに往復させる

「青」
右手の4本の指を右頬にあて、後ろに引く



ぱったり会う



青々とした肌 (すぐに使える手話辞典6000より引用)

のってく(交通空白地有償運送事業)と ほろるん(福祉有償移送サービス事業)の 運転ボランティアを募集!!

当サービスは「困った時はお互いさま」の精神で、地域に住む人が安心して生活できるように、外出支援をする有償サービスです。



研修会の様子

☆ 75歳未満で普通免許を保持し、積極的にボランティア活動ができる方(2日間の運転者認定講習会受講が必須)※自己負担はありません

☆ 活動は月曜日から金曜日の午前8時30分から午後5時までの間。(予約運行です)

☆ 活動費 1時間あたり 1,000円程度

お問い合わせ 城里町社会福祉協議会

TEL. 029-288-7013



有償ボランティアのみなさん



飛田 ひて子さん 87歳 石塚

石塚に住む飛田ひて子さんを取材しました。私達の到着を外で待っていてくれました。ひて子さんは、長い間、日本舞踊を



入野 貞一さん 85歳 栄子さん 80歳 上坪

貞一さんはそば打ちが趣味で、55歳の時「会津そば

わが町のさわやか元気さん (65)

塾」に入門、会社の休みを利用し通い続け本格的にそばの打ち方を学びました。

その後、地元公民館からそば打ち講座の講師を依頼されました。さらに桂の道の駅からも声がかかり、45年間勤めていた会社を辞め、63歳でそば打ち職人としてデビューしました。桂産の常陸秋そばは、打ちたてを食べられ美味しいと評判を呼び県内外から多くのお客様が来られ、テレビの生放送で紹介されたことも



続けていました。きっかけは49歳の時、大病をしたことです。家族から、何もしなくてもいいから体を休めてとの話がありました。元々、体を動かすのが大好きで、以前から大変興味があった日本舞踊を始めました。流派は、中村流で男役です。59歳で、名取をいた

あります。

栄子さんは、料理が得意、更に西川流日本舞踊の名取で、東京両国の国技館のこけら落としの際、代表で踊りました。現在は、長女家族と同居。正月には、孫5人、曾孫6人、家族20人ほどが集まります。結婚前、貞一さんから「日本中、世界中で一番幸せにするね」と言われた栄子さん、今その言葉以上の幸せを実感しているお二人です。

だき61歳で師範の免許を取得し、いままでたくさんのお弟子さんを育ててきました。母屋の裏には立派な稽古場があります。ひて子さんは、3年前に旦那さんを亡くし、気落ちしていましたが、孫の司法試験合格の報告を受け、元気づけられ今があると話されていきました。

趣味は、田舎料理を作ることです。知り合いの方に、手料理を届け美味しいと大変喜ばれています。いつまでもお元気です。

街で出会った

ちょっといい話④

叔母からの年賀状

母の13回忌が過ぎ、思い出す事も少なくなつたこの頃。叔母からは毎年、ひと言添えた市販の年賀状が届きます。今年は母が小学生の頃、夏休みにお婆ちゃんとうと叔母の三人で、海岸近くにある知り合いの農家の離れを一カ月借りて過ごした思い出話が、年賀状に書かれていました。

年賀状の最後に、来年も私の知らない母の話を書いてくれるとありました。そして、叔母の知らない母の話を来年の年賀状に書いてほしいとありました。何を書こうかと思うと、忘れかけてた母との楽しい思い出が叔母のおかげで、色々よみがえり、何を書くか今から楽しみです。



目次

- 表紙 1
- 会長あいさつ 2
- 巳年の豆知識 3
- 社会福祉大会 3
- さいらつと生きる 4
- つくしの四季⑦ 4
- 災害に備えるために 5
- このゆびとまれ 手作り餃子教室 5
- 心身障害児者父母の会 クリスマス会 6
- なかんせプラツと広場 6
- しめ飾りとしめ縄 7
- 手話を学ぶ④ 7
- 運転ボランティア募集 7
- わが町のさわやか元気さん⑤ 8
- ちょっといい話④ 8
- 目次・編集後記 8

編集後記

旧年中は、「かざぐるま」をご愛読いただきありがとうございました。今年も年4回の発行を予定しております。編集委員一同、これからも皆様の身近な話題を正確にお伝えしようと、一生懸命、取材に編集に取り組んで参りたいと思えます。寒さ厳しき折、体調には十分注意されますよう、本年もよろしくお願いたします。